AN AMERICAN CLASSIC

ZIPPO®

ZIPPO HOT NEWS SPECIAL ISSUE

VOL.7

ジッポー・ホットニュース・スペシャル 2001秋冬号 AUTUMN/WINTER


Zippo
OUTDOOR GEAR
BRADFORD, PA., U.S.A.
Zippo
ZIPPO
ZIPPO
ZIPPO



ジッポーとともに歩いた名門ペンヒルズ。

［ブラドフォード点描］⑦　ペンヒルズ・カントリー・クラブ

どこから撮っても絵になる。これはジッポー本社からほど近い、ペンヒルズ・カントリー・クラブのクラブ・ハウス。最終の十八番ホールから見た風景である。鳶が這う煉瓦造りの建物には、「ブレイズデル・ルーム」と称されるレストランもあり、ジッポー社の創業者ジョージ・G・ブレイズデルの造詣が深いことがわかる。

一九二七年の開設以来、さまざまな変遷を重ね、五〇年代に十八ホールになったペンヒルズ。このコースをブレイズデルは、こよなく愛した。すでに、公然の秘密となっているが、最大の支援者となり、コース拡張にも資金援助を惜しまなかった。のちには、プロたちが腕を競った「ジッポー・オープン」も主催し、地域のゴルフ振興にも力を注いだ。

もちろん、家族とラウンドすることも多く、それぞれ名ゴルファーに育てた。ロビーの歴代チャンピオンをしめすパネルには、ブレイズデル自身、妻ミリアム、娘ハリエットの名がズラリ刻まれている。ホール・イン・ワン第一号もブレイズデル、これは一九五〇年十月四日、六番ホール、六番アイアンで達成している。



ジッポー・ファミリーは、このクラブ・メンバーが多く、ジッポー社では永年勤続表彰などのセレモニーや親睦パーティーに多用する。そんな地域の紳士淑女を集めるフォーマルなクラブだが、コースでは乳母車に赤ちゃんを乗せてひとりでプレイする女性や、少年ふたりがのんびりクラブを担いでまわる牧歌的な風景も混じる。そんなさまざまなシーンをみつめ、一夜明けたクラブ・ハウスは、名物の霧につつまれた新しい朝を迎える。

CONTENTS

[ブラドフォード点描⑦] ベンヒルズ・カントリー・クラブ 2

2001年ナショナル・ジッポー・デー 4

[寄稿] ナショナル・ジッポー・デーに参加して 7

第3回ジッポー東京スワップミート 8

2001ジッポー・ライター新製品ガイド

WORLD MODELS 12

[頑小物] ジッポー・ペンの話 13

JAPAN MODELS 14

ZIPPO AMERICAN OUTDOOR FASHIONS 2001 16

IT'S A ZIPPO STORY⑥ なつかし屋の聖地／菊地昭典 19

[ZIPPO ZOOM UP] 20

ジッポー・オリジナルTシャツへの熱いこだわり

韓国の人気モデルは、いま——

ビデオ／ハンドブック購入ガイド

コイン・オイル注入器

老人がジッポーを使うシーンが最高にいい!…映画「百合祭」

恒例化する「ジッポー・アウォーズ・ナゴヤ」

小さな金属の塊、できすぎた話／松 賢児 22

コレクター登場

ジッポー・ライター入門 ～着火編～

ZIPPO SHOP TOUR

FROM ZIPPO 24

●表紙／ジッポー・アメリカン・アウトドア・ファッションズのアイテム



合言葉「Hooray!」の横断幕

2001年ナショナル・ジッポー・デー盛大に！

今回で第八回を数えるファン感謝デー「ナショナル・ジッポー・デー」は、七月二十日から二十一日までジッポーの故郷・ペンシルバニア州ブラドフォードのジッポー／ケース・ビジターズ・センター前広場で開催された。協賛イベントはダウンタウンなどで多彩に繰り広げられ、数多くのファンが「Hooray!」を合言葉に、この日を祝った。

ジッポー・デー名物は「バーゲン・テント」と「記念ライター」

ジッポー社の新社長グレゴリー・ブースによれば、「今年のジッポー・デーは、そのコレクティブルであるハリウッドをテーマにした最初の年」。ビジターズ・センター内ショップや主催者テントでは、ハリウッドのスターのポートレートがファンを出迎えている。

オープンは、朝八時。ビジターズ・センターでは映画フィルムもデザイン・モチーフにした「記念ライター」（限定一、〇〇〇個）などが販売開始。これは先行予約を受け付けたため、比較的落ちついていたが、一人二個とあり、数を望むファンは行列を繰り返す。完売の声は、午後には聞こえた。呼び物のひとつ「バーゲン・テント」も同時に店開き。格安のライター、スポーツ・ウェア、アクセサリー、小物など、ファンは品定めに忙しい。

第一日目、朝一番のセレモニーは、ケース・ナイフのプレゼンテーション。公認コレクターズ・クラブ・メンバーの記念銘板などを紹介し、この日からビジターズ・センターに永久展示



ナショナル・ジッポー・デーのパンフレット


会場のビジターズ・センター


エルビスやジェームス・ディーンが出迎えるショップ入口



記念Tシャツ&キャップ



今回のテーマ“Stars of Hollywood”の横断幕



炎色の赤いジッポー・ベア

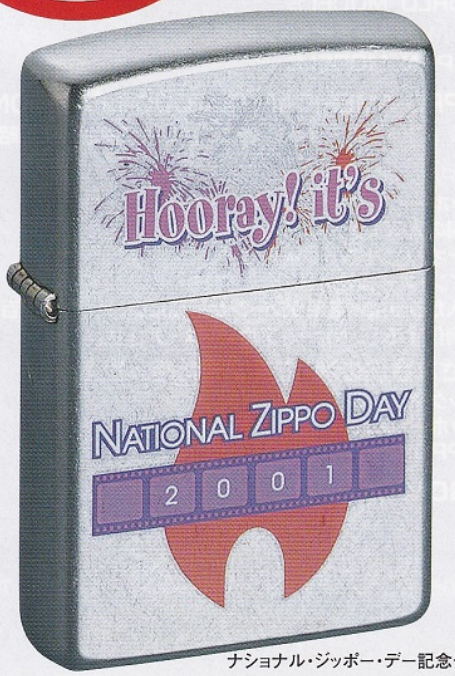

ケース・ナイフの研磨サービス



にぎわうバーゲン・テント


ビジターズ・センター内ショップ


ビジターズ・センター内ミュージアム



ナショナル・ジッポー・デー記念モデル

National Zippo Day Celebration July 20-21 2001

されることが報告されている。

会場のビッグなサービス・テントでは、アート部門のライター絵柄の手書き実演、イニシャル刻印サービス、歴史的オイル缶ディスプレー、ラッキー・ペニーやオイル充填サービス。軽食テントではドーナツとコーヒーの無料サービスがあり、買い物の戦果をテーブルいっぱいに広げ、ファン同士でジッポー談義。ジッポー・デーの定番となった伝説のジッポー・カーやスポンサードしているレーシング・カーの前では、記念写真を撮る人たちの姿が多い。ケース・ナイフの研磨サービスも人気を集めていた。

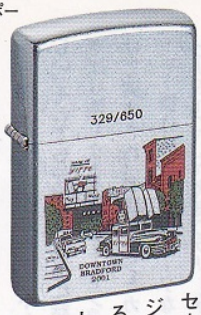
サマー・フェスタで盛り上がるダウンタウン

一方、ダウンタウンもジッポー・デーにあわせてサマー・フェスタを開催。初日の十時から発売された「ダウンタウン限定モデル」（限定六五〇個）は、二日目でソールド・アウト。ガゼボに変わるジッポー・カーの新デザインが好評だった。ライターでは、地元出身の有名オペラ歌手マリリン・ホーンの業績を称えた特製モデルも、限定二五〇個で発売されている。

イベントの中心メイン通りでは、地元の人たちの手づくり品を扱うサイド・ウォーク・セール。ビンテージ・カーが勢ぞろいするカー&トラック・ショー。圧倒的な台数のハーレーが凱旋するモーターサイクル・ファン・ランには、大きな歓声が上がっていた。

また、シティ・ホールでは、地元のアーティストが腕を披露する写真展、絵画展。YMCAでは各種フードのケータリングを行なうストロベリー・フェスティバル。ファーマーズ・マーケットも開催され、とれたての野菜やジャム、パン、クッキーなどが特価販売された。

ダウンタウン限定ジッポー





ジッポー・レーシング・カーと伝説のジッポー・カー



記念銘板を披露するケース社プレゼンテーション・テント


手描きアート展示実演コーナーとさまざまなデザイン・サンプル


カスタマー・サービス・テント



ポスター、フリントなどのサービス・コーナー


マリリン・ホーン特製モデル


「売約済み」のカードも目立つ地元作家による写真展・美術展


情報サービス・テント



立ち並ぶ通り沿いのお土産ショップ



2002年のダウンタウン記念モデルのサンプル



「ダウンタウン限定モデル」購入のための早朝からの行列


人気者のジッポー犬とケース犬

コレクター・クラブ「PLPG」のライター・ショーも併催

ハワード・ジョンソン・モーター・ロッジのパーティー・ルームでは、ジッポー・デーにあわせ「オール・ライター・ショー&スワップミート」が二日間開催された。ロンソンなど他ブランド品も混じるが、やはりジッポーが中心。おなじみの面々が六〇ほどのテーブルに自慢のコレクションを展示。それぞれビジターズ・センターを往復し、記念モデルをゲットしながらで忙しい。それでも仲間との再会に話が弾んでいた。やはり熱くなるのは、オークション。二回にわけて実施され、名品タウン&カントリーやジッポー掛け時計などユニークなモデルがやりとりされていた。代表のラリー・マーシャルは「ジッポーは世界でもっとも販売され、トレードされているライターと信じている」とコメントしている。

買い物たっぷりの日本のファンも……

今回は、ジッポー・デー・ツアーが日本で企画され、延べ十名の参加者があった。ジッポー社の協力を得て、ナイアガラのカナダ工場、ブラドフォードのコングレス工場の見学も実施され、その完成までのプロセスを直接見ることに一同感激。思い思いにジッポーの故郷を楽しんでいたが、やはり人気は「ここでしか買えないグッズのショッピング」。来年のスワップミートも実施が予定されており、参加できなかった人は、次のチャンスに！

ジッポー・デーの責任者パット・グランディは、「来年は創業七〇周年にあたり、いままでにないビッグなスワップミートになる！」。



「Hollywood's Leading Light」Tシャツ


おいしいケーキやとれたての野菜を即売するファーマーズ・マーケット



ジッポー・デーも祝福するショー・ウィンドウ





2日目午前、メイン通りを凱旋するモーター・サイクリストたち




PLPGのライター・ショー


ビンテージ・カーがズラリの「カー、トラック&モーターサイクル・ショー」



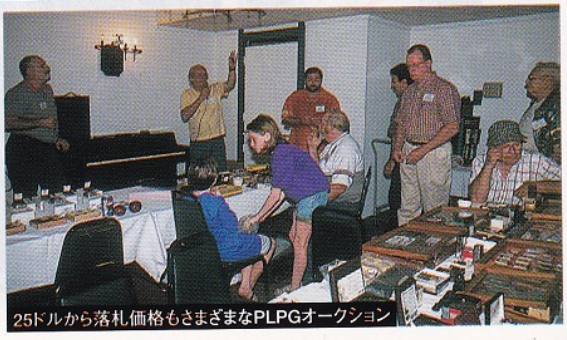


PLPGのライター・ショー



ジッポー・デーをリポートする「ブラドフォード・エラ」紙

Zippo/Case
Visitors Center
1932 Zippo
Drive・Bradford, PA


25ドルから落札価格もさまざまなPLPGオークション

寄稿／細谷 英治

「2001年ナショナル・ジッポー・デー」に参加して

ブラドフォードの街も、ジッポー本社も、ジッポー・カナダも、すべてがはじめて目にする光景だった。

名古屋空港からデトロイト空港まで約十三時間。東京、大阪からの参加者とは、ここで落ち合った。しめしあわせたように、喫煙コーナーでの合流となる。それぞれのジッポーで、タバコに火をつける。長旅の疲れはあるものの、みな輝いた目でナショナル・ジッポー・デー談義に花を咲かせていた。

さらに国内線に乗り換え、いざバファロー空港、ブラドフォードへ。



訪問者の歓迎とジッポー・デーを祝う、本社玄関プレート


エッチング工程を説明するロウレイ製造部長

ナショナル・ジッポー・デーに先駆け、七月十九日、わたしたちはジッポー・カナダへと向かった。宿泊先のホテルからバスで数分。思ったほど大きい社屋ではなかったが、それを見たときの感動は大きかった。

ロビーで、カナディアン・ジッポーがならぶディスプレーを眺めていると、ロウレイ製造部長が気さくな笑みを浮かべながら現れ、握手を求めてきた。彼の気さくな人柄にすっかり魅せられてしまう。残念ながら、ワイオナ・ペダーソン総支配人に逢うことはできなかったが、彼女の部屋に飾られている、ジッポーで製作されたカナダ国旗を見ることができたのも、いい思い出となった。

早速、彼の案内で工場に入る。刻印、エッチング、マスキング、色づけ、修理クリニックと、それぞれの工程を見ていく。加工、デザインが中心の製造ではあるが、ジッポーができるまでを知るには充分だった。


次々とコンピュータ彫刻が行なわれていく


メタル貼り工程に見入る参加者たち



ライト・ロウレイ氏と記念撮影

最後は、ロウレイ氏と参加者全員で記念撮影。前日の夜、スカイロン・タワーからジッポー・ネオンを見たが、真下から見あげると、やはり感激せずにはいられなかった。記念にもらったジッポーは、忘れられないコレクションとなっている。

七月二十日、いよいよ「二〇〇一年ナショナル・ジッポー・デー」が幕を開けた。

まずは、記念モデルを買いにビジターズ・センター内のショップへ急いだ。とりあえず二個だけ手に入れ、つぎはバーゲン・テントへ。日本ではあまり見ることのないモデルも多く、とにかく目移りする。数個まとめ買いしたあと、ふたたびビジターズ・センターへもどり、ミュージアムを観ていると、岡本日本代表から声をかけられた。

「どう？　楽しいところでしょう」。何度も見ているであろう岡本氏も、まるでお気にいりのおもちゃを眺める、子どものような表情だった。

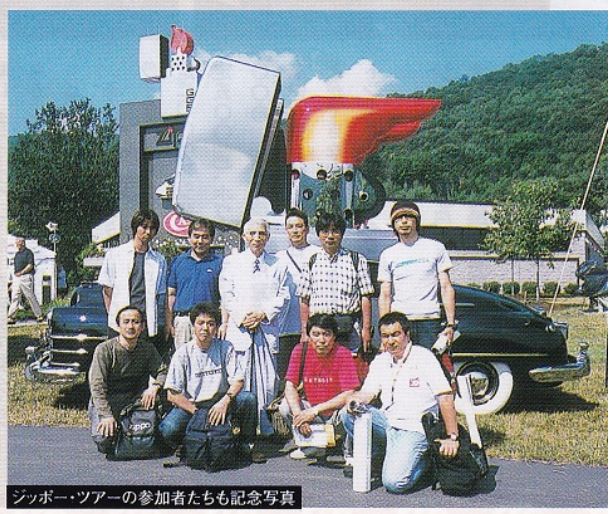
いくつかの戦果を手に外を歩いていると、あのジッポー・カーが目に入った。待望の対面である。これがジッポー・カーか……夢にまで見た車をなめますように眺め、記念撮影。もちろん、ジッポー・レーシング・カーとも写真を撮る。

サービス・テントで四種類のジッポー・ポスター、フリント、さまざまな資料を獲得し、参加者たちと戦利品について語り合う。みな一様に、大量の買い物をしているのには驚かされた。負けまいと、それから数回、ビジターズ・センターとバーゲン・テントを往復し、持ちきれないほどの荷物を持つことになった。

ジッポー・デー二日目には、リック・ペダイン輸出部長の案内で、コングレス工場の見学が行なわれた。長年ジッポーを愛用しているが、その製造過程を見られることになるとは思ってもいなかった。この工場はジッポー・カナダとちがい、工場の大きさも生産量もケタはずれだ。二班にわかれてそれぞれの製造工程を見学したのだが、スタッフたちの歓迎ぶりがとても気持ちよかった。



ブラドフォード・コングレス工場


ジッポー・ツアーの参加者たちも記念写真

ダウンタウンでの楽しみは、ふたつ。もちろん、ひとつは「ダウンタウン限定ジッポー」だ。あまりのかっこよさに、なんとか三つ購入した。もうひとつは「モーター・サイクル・ファン・ラン」。やはり、ハーレーの本場だ。日本にはない、モーター・サイクリストたちのセンスのよさに、思わず鳥肌が立った。今度はぜひ、サイクリストとして参加してみたい。そのほかにも、ここには書ききれないほどのイベントが、わたしたちを楽しませてくれた。さすがエンターテイメントの国だ。

いよいよ来年は、ジッポー社七〇周年スワップミートが開催される。きっと今回以上に、すてきな人たち、そしてジッポーとの出逢いが待っているにちがいない。

（ジッポー・ツアー参加者）

できるなら、まるごと持って帰りたい。
21世紀最初の第3回ジッポー東京スワップミート


スワップミートのメイン・ゲート

ジッポー・デーに先立つ三月二十四・二十五日もジッポー・ファンを熱くする二日間となっている。東京・西新宿「スペースセブン」イベント広場で開催された「第三回ジッポー東京スワップミート」は、延べ三千人以上の入場者を数え、ますます熱を帯びていた。アメリカ・ジッポー本社からはオーナーや社長らが来日し、会議や取材なども加え、多忙な二日間を過ごした。二十一世紀最初のスワップミートを、きみはどのようにして楽しんだか？

Zippo TOKYO SWAP MEET March 24-25 2001



限定ジッポーを買おうと、発売前から長蛇の列



入場を心待ちにするファンたち



ジッポーを求め、各ブースで熱い交渉が続く


これでもかと並ぶジッポー・コレクション


貴重なベトナム・ジッポーが数多く並べられたブース


多くのファンを魅了したジッポー・チェス


ジッポーを持ってニコリ!



オーナーのサイン入り限定ジッポーも

早朝からコレクターの長蛇の列「コレクターズ・アワー」

オープンに先駆けて、九時から行なわれた「コレクターズ・アワー」。先行予約の二〇五名に加え、当日の入場希望者二五四名が早朝から長蛇の列をつくった。特設ゲートが開くと同時に、各ブースへジッポーを求めて猛ダッシュ！なかには、午後一時に開店する記念グッズ・シヨップに並ぶ人も……。

今回のスワップミートのロゴが入った限定ライターは、スターリング・シルバー・ライター（限定二〇〇個）、シルバー・プレート・ライター（限定五〇〇個）、ホワイトマット・ライター（限定一、〇〇〇個）の三種類が用意された。いずれも高い人気を博し、初日に完売。手に入れることができなかったコレクターとの間で、すぐにトレードする光景も見られた。

ジッポー本社から、オーナー、新社長ら最高幹部も来場

ジョージ・デューク、グレゴリー・ブース、デイビッド・シームア……今回、ジッポー本社か



スワップミート限定ライター


ジッポーを語るオーナー



FM横浜、公開生放送中!


オーナー・新社長のサイン会


HUMIDOR提供の3個限定「FM横浜ジッポー」



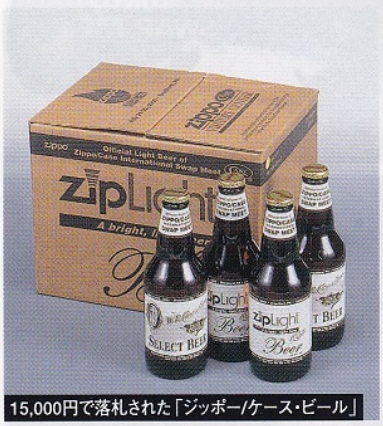
各所で交流を深める岡本日本代表



特別来日したジッポー本社幹部の面々



激戦が続いたオークション風景



15,000円で落札された「ジッポー/ケース・ビール」



オークション最高額で落札!



垂涎もののオークション品が並ぶ


初日のオークション終了後、パーティーが盛大に開かれた


50,000円で落札された「90年代オリジナル・エルビス・プレスリー・シリーズ6点セット」



32,000円で落札された「ジッポー・ガスライター2点&ガスボンベ1ダース」

ら七名の幹部が来日。日本のジッポー関係者らとの再会を喜ぶ一方、二日間にわたって行なわれたオーナーと新社長によるサイン会では、ジッポー、キャップ、色紙、Tシャツなどにサインし、熱心なコレクターだけでなく、ジッポー初心者たちとの交流も楽しんでいた。

また、テレビや雑誌の取材を精力的にこなし、ジッポーの存在をアピール。真のコレクターなら、ぜひチェックしたいところだ。

新社長のグレゴリー・ブースいわく「日本は今回がはじめてですが、すばらしいスワップミートですね。二日間にわたって多くの方々とお会いすることができました。大成功だと思います」。

「ジッポー ウィークエンドリクエスト at 東京スワップミート」の公開生放送!

二十四日、ステージではFM横浜「ジッポーウィークエンドリクエスト at 東京スワップミート」の公開生放送が三時間半にわたって行なわれた。人気DJ・栗原治久氏の軽快なトークを聞きつけ、来場した人も多く見られた。番組内では、ジッポー社日本代表・岡本信義氏、ジッポー社オーナー、新社長へのインタビューや、カレイドスコープによるライブなども行なわれ、多くの来場者を楽しませていた。また、FM横浜の口コが入った記念オリジナル・ジッポー(限定三個)が、出店していたショップ「HUMIDOR」から提供された。

垂涎の逸品が目白押し! オークションに目が釘づけ

スワップミートの目玉のひとつといえば、やはりオークション。二回にわたり、全三十六点が競りにかけられ、コレクターたちの熱い駆け引きが展開された。「第三回ジッポー東京スワップミート記念純銀モデル・シリアルナンバー一番」六五、〇〇〇円、



コカコーラ・コレクション


過去のスワップミート・コレクション



過去のスワップミートの様子も紹介



各社、自信に満ちた新製品紹介



修理コーナーはすでに名物に


フォーミュラ・レーシング・ドライバーの原貴彦氏


修理不能のジッポーも並べられた



「2002年ワールド・カップ」コーナー

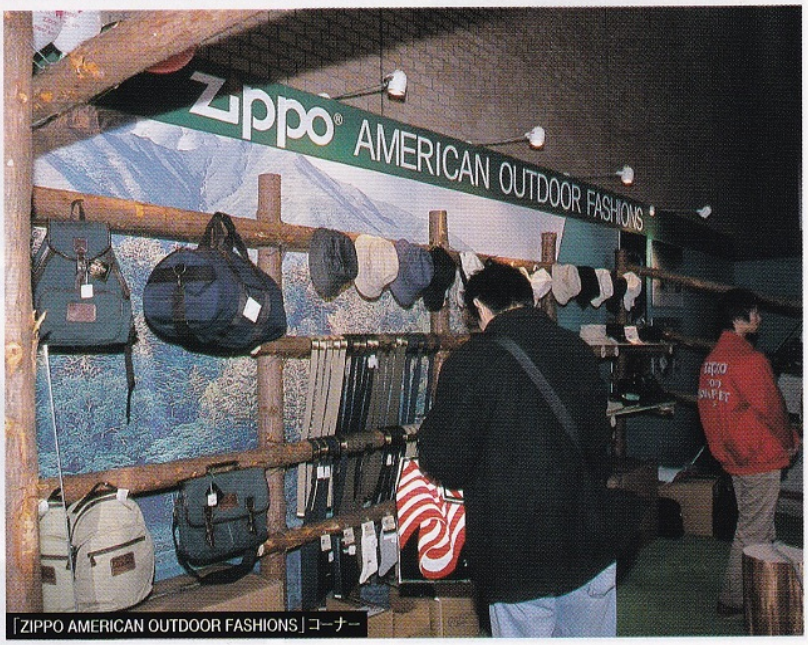


津々見友彦氏の解説で走る原貴彦氏


前回優勝者も参加した着火デモンストレーション



ヒストリー紹介



「ZIPPO AMERICAN OUTDOOR FASHIONS」コーナー



「Zippo彫刻システム」コーナー


いよいよ抽選会!なにがあたるのか?

「カナダ・ジッポー特製デザイン・カタログ二冊」二、〇〇〇円、「七〇年代中期アクリル貼り試作モデル二点」六〇、〇〇〇円。二日目後半には、「ジッポー・ショップ用試作店頭ネオン」が最高額の十万円で競り落とされ、コレクターたちから大歓声がおこった。

スワップミートならではのイベントも盛りだくさん

特設ゲート近くの展示ゾーンでは、第一回・二回のスワップミート・コレクション、「ココカーラ」「ハードロック・カフェ」コレクション、修理不能ライター、ライター・ボトムの変遷、ジッポー社の歴史、ジッポーに関するトピックスを集めた"What is ZIPPO"などが紹介された。

一方、ステージではフォーミュラ・レーシング・ドライバーの原貴彦氏と、モーター・スポーツ評論家の津々見友彦氏による「ジッポー・レーシング・チャレンジ」が行なわれた。原氏のデモンストレーションには、誰もが「さすが!」のひと言。そのタイムに勝とうと次々と挑戦したが、ひとりとしてこの記録を破れずじまいに。

いまや名物となったジッポー・サービスによる修理クリニックや、ローランドディージー&マッコイによるデジタル彫刻コーナーには、なかなか見ることができないその技術を一目見ようと長い列ができていた。ライセンス柄ゾーンでは、明日のジョー、仮面ライダークウガ、ルパン三世、二〇〇二年ワールドカップ・サッカーなどのジッポーを販売。また、ジッポー・アメリカン・アウトドア・ファッションズのコーナーではライターだけでないジッポーの世界を演出し、コーヒー&クッキーの無料サービスも好評だった。

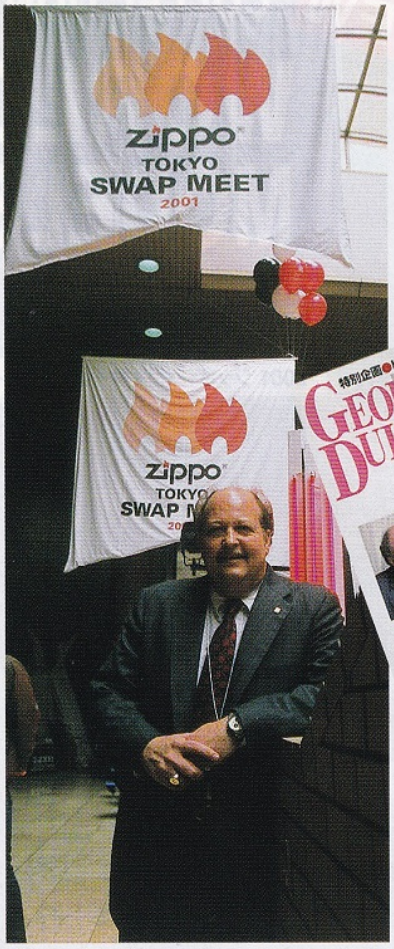
自分のジッポーにかけて裏切れない信念がある

ジョージ・デューク（ジッポー社オーナー）



「ジッポーのデザインが、持つ人のスタイル、趣味、そして生き方までを語るツールになっているんですよ」

「生涯修理可能の保証がついていること。しかし、これは当然のことなんです。自分の生き方や信念を託したものが壊れてしまうことなど、あってはいけないことですからね」（抜粋）





「BIG tomorrow」6月号に掲載



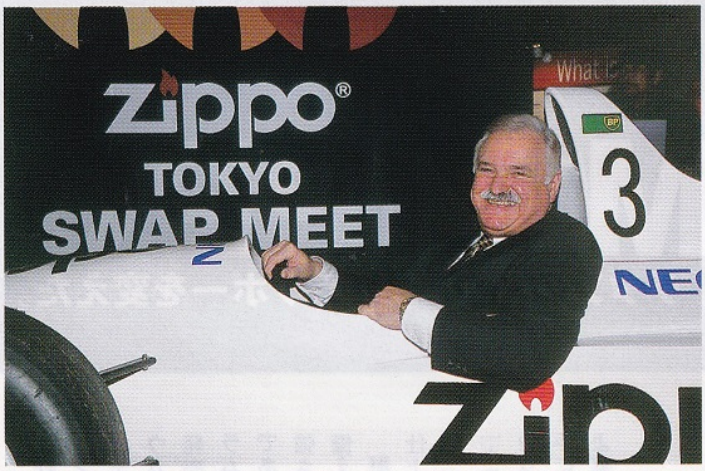
「Esquire」8月号に掲載

ジッポーこそハリウッド映画の名優というべきだね。

グレゴリー・ブース（ジッポー社 社長）

「ハリウッドの超大作映画に次々と出演し、肝心の場面で名演してみせるのは誰だと思う？　このジッポーさ。『カチッ、シュボッ』というあの音とともに火が灯り、蓋を閉じると辺りが暗くなって、一つの場面が出来上がる。すごい名演だと思わないかい」（抜粋）





Zippo OSAKA SWAP MEET September 2003

次回は大阪で開催へ

本年4月のジッポー・スワップミート実行委員会において、次回開催について討議が行なわれ、「2003年9月・大阪」で決定。来年7月のアメリカ本社のジッポー／ケース・インタナショナル・スワップミートに続く、ビッグ・イベントになる。詳細が決定次第、本誌でお知らせする。お楽しみに。

NEW

ZIPPO LIGHTER COLLECTION

WORLD MODELS 2001

2001 ジッポー・ライター新製品ガイド

ソリッド・チタニウム・ジッポー
#110／18,000円

TITANIUM ZIPPO

12gもライトなのに、スーパー・ヘビー。チタンのパワーが、ジッポーを変えた。



チタン製ジッポー専用パッケージ。ジッポーと同様、ヒンジ付きで開閉する。



「SOLID TITANIUM」と刻印されたボトム・スタンプ



軽い、強い、錆びない。極限の状況に耐えるチタンは、ジッポーにこそふさわしい。本体に新素材チタニウム金属を使用した「ソリッド・チタニウム・ジッポー」が、世界に先駆けて日本で先行発売された。従来のモデルにくらべ、約十二グラム軽量のチタン製ケース（#二〇〇モデル比）であるにもかかわらず、並みの衝撃を跳ね返す強さと、決して錆びることのないタフさを兼ね備えた強靱なボディが魅力。

歴史的なファースト・モデルは「ビードブラスト」仕上げで、シンプルなスタイル。形状はフラット・トップ、ボトムには「SOLID TITANIUM」の刻印。一九三七年モデルの復刻デザインが採用されており、まさに、伝統と新時代が融合したモデルだ。手にしたとき、新たなジッポーの時代が、いよいよ幕を開ける——。

頑小物 No.6

ジッポー・ペンの話

文・きとうひろし（Collector/Historian）



最近は店頭で見かけないが、僕はジッポー社製のボールペンを10年近く使っている。これもまたジッポー社オリジナルのノン・ライター製品であるから、当然「永久無料修理保証」が適用されるのだが、一度もそのお世話になったことはなく、いまだ「現役」である。もちろんインク芯は消耗品なので交換は必要だが、アメリカの有名な筆記具メーカー「クロス社」のボールペン用替え芯がそのまま使えることで入手に苦労したことはない。

たかがボールペンではあるが、数年使い続けていると、自然に自分の手にフィットしてくるところが、妙にジッポー・ライターと似ている。

数年前からは企業名印刷用の簡易型ボールペンも発売され、「広告付きジッポー製品」としてライター同様の楽しみも増えた。ジッポー社製品ということは、僕にとっては大切な「使える」コレクタブル（収集品）ということになるのだが、実際の収集品としての「ジッポー・ペン」はいったい何種類が存在するのかをご存じだろうか？

発売当初は「リティング・インストゥルメンツ（筆記具）」と呼ばれていたが、現在は「パフォーマー・ペン」と、「スタイラス・シリーズ・ペン」に区分されている。ジッポー製品ではおなじみのノベルティーや企業広告は本体上下やクリップのエンブレム、中央ベルト部分に入っており、これに各表面仕上げとのバリエーションをあわせると、ペン単体で約160種類もある。それに専用箱や替え芯などの小物が約40点と、販促関連品が13点ほど存在するので、「ジッポー・ペン」を単一な収集品として数えただけでも200アイテム以上になる。それに他のジッポー製品とのギフト・セットすべてを加えると、なんとその総合計は800点を超えてしまうのである。

こんな奥深いコレクタブルに出会ったときから、僕はいまも眠れない日々が続いている。

PEARL HARBOR

ジッポーは、パールハーバーを忘れない。「パールハーバー六十周年記念ジッポー」

PEARL HARBOR ZIPPO REMEMBERS PEARL HARBOR



No.100PH101
（銀メッキ、エッチング金差し）／12,000円

No.223PH101
（グレーマット）／6,000円



一九四一年十二月七日、全世界を震撼させた、ハワイのオアフ島での「パールハーバー」から六十年。これを記念して、二種類の限定ジッポーが発売される。

銀メッキ・モデルは、二十四kを差し色にした非常に美しい仕上がり。世界限定二、〇〇〇個・シリアル・ナンバー入り、コレクティブルにふさわしいベロア箱を使用したパッケージがジッポー・ファンの心をくすぐる。

全面塗装モデルは、戦艦アリゾナとアメリカ国旗をカラフルにデザイン。ジッポーと同じプリントが施された専用オリジナル・スリーブに収められている。

どちらも、コレクションに入れたい逸品であることはまちがいない。



クール、ダーク、そしてミステリアス。

Black Ice



シルバー・プレートの廃版にともなって誕生した「ブラック・アイス」。ジッポーの変わらないスタイルが、深く、鏡のようなブラックに映しだされている。

独自のPVD加工が、ミクロのように薄く、傷にも強い、光り輝くコーティングを実現し、クラシック・クロームのジッポーに仕上げている。また、光沢のある表面はコンピューター彫刻、レーザー彫刻、フル・カラーリング、エンブレム・デザインによって、よりドラマティックなジッポーになるのも魅力だ。

No.150／4,200円

※12・13ページの商品のお問い合わせは、伊藤商事（株）☎03-3562-5811 マルカイコーポレーション（株）☎06-6443-0072まで。

NEW

ZIPPO LIGHTER COLLECTION JAPAN MODELS 2001

2001 ジッポー・ライター新製品ガイド

ジャパン・デザインがまた、世界のジッポーを震撼させる。

その名にふさわしいクールな表情が、心に灯をともす。

ブラック・アイス・シリーズ BLACK ICE SERIES

ジッポー本社製の「ブラック・アイス」にレーザー・エングレーブを施した、クールなジッポー。日本加工のブラック・アイス初期モデルとして、貴重なコレクションになるのはまちがいない。



①No.150ニューヨーク　②No.150レブラー　③No.150ジッポー
④No.150マップ　⑤No.150ガール　※各モデルとも5,200円

自然の仲間たちを象徴するピクト・デザイン・ジッポー。

ネイチャー・シリーズ NATURE SERIES

アウトドアにむかうとき、大自然がやさしく迎えてくれる——そんな仲間たちをモチーフにしたジッポーが誕生。このジッポーが、フィールドでの新しいパートナーになる。



⑥No.160S 太陽
⑦No.160S 風
⑧No.160S 炎
※各モデルとも6,000円

さまざまな色の海で泳ぐイルカを、幻想的に再現。

イルカ・シリーズ DOLPHIN SERIES

夕陽に照らされた海、青く澄みきった海、太陽が燦々と降り注ぐ海。すべての生き物の故郷である海のなかを華麗に泳ぐ姿は、まさにドルフィン・イリュージョン。



⑨No.650 オレンジ
⑩No.650 ブルー
⑪No 650 ピンク
※各モデルとも6,500円

ジッポーの炎、アメリカ国旗の赤が映えるモデル。

ホワイト・マット・シリーズ WHITE MAT SERIES

赤がもっとも映えるホワイト・キャンバスに、ジッポー・ライター、アメリカの国旗をさまざまにデザイン。このジッポーに火をつけたとき、その輝きはこのジッポーだけのもの。



⑫No.214 ウインドプルーフ　⑬No.214 USA70　⑭No.214 USAフラッグ
⑮No.214 ジッポー1932　※各モデルとも5,500円

最強の軍艦には、最強の炎が似合う。

軍艦シリーズ WARSHIP SERIES

海の覇者・アメリカ海軍。そのクルーであることは、彼らにとって最高の栄誉だった。プライドと誇り、そして強靭なハートがシップ・ジッポーには宿っている。



⑯No.200FB サラトガ　⑰No.200FB ジョージ・ワシントン
⑱No.200FB ニミッツ　⑲No 200FB ジョン・ステニス　⑳No 200FB アイゼンハウアー
㉑No.200FB ロナルド・レーガン　※各モデルとも4,200円

※本ページの①～㉑までのお問い合わせは、伊藤商事（株）☎03-3562-5811まで。

職人の技が、アメリカン・スピリットを越えるジッポーを創りだす。

ジャパネスク JAPANESQUE

平成十四年度限定十二支「梨子地漆本金蒔絵」

来年の干支である「馬」をモチーフに、和の心とアメリカン・スピリットを融合させた、まさに特別限定品になっている。



㉒ 2LAN-UMA／25,000円
（名刺ケース付）



本金蒔絵「大黒」

福徳の神として親しまれている、七福神のひとり「大黒」。彼につられて、つい笑顔になってしまうジッポーだ。





㉓ 2LA-DK／10,000円

本金蒔絵「七福神」

幸せの象徴・七福神をデザインしたモデル。七人の神々が、きみの幸運を約束する。





㉔ 2LA-GOD7／10,000円

本金蒔絵「方位盤」

風水の基本となるのが方位盤。このジッポーを持ち歩けば、いつでも方位のパワーを味方にできる。



㉕ 2LA-HOI／10,000円



本金蒔絵「開運白虎」

風水では、金運を司るには「西に黄色」といわれ、その西は中国の四神「虎」にあたる。すなわち、虎は金運の象徴。



㉖ 2LA-KT／10,000円



本金蒔絵「招き猫」

招き猫をモチーフにしたモデル。福を招きたい人はもちろん、猫好きにもたまらないジッポーといえるだろう。



㉗ 2LA-NEKO／10,000円



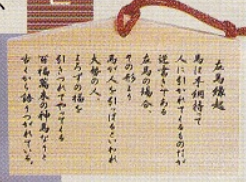
本金蒔絵「左馬」

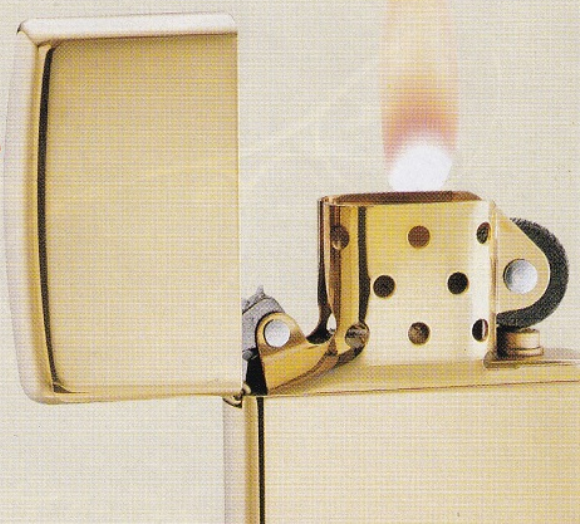
馬が人を引くものとされ、百福萬来の神馬として、古くから語り継がれる「左馬」が、絵馬とセットで誕生した。まさに、ジャパネスクの代表的モデルともいえるコレクションだ。



㉘ 2LA-LH／10,000円







 ※本ページの㉒～㉘までのお問い合わせは、マルカイコーポレーション（株）☎06-6443-0072まで。



ZIPPO AMERICAN OUTDOOR FASHIONS 2001

ジッポー・アメリカン・アウトドア・ファッション秋冬新製品ガイド

黄金色の大地へ、白銀の世界へ——頼れるのは、不変の哲学と確かな機能性。

レザー・グッズ、時計、サングラス、キャンピング・ギア、帽子、ベルト、靴、ソックス。すべてのジッポー・ライターに受け継がれてきた不変の哲学「It works」、そして頑なまでに守り続ける品質へのこだわり。ブレイズデル・スピリットは、さらなる「ジッポー・アメリカン・アウトドア・ファッションズ」にも宿る。

OUTDOOR SHOES

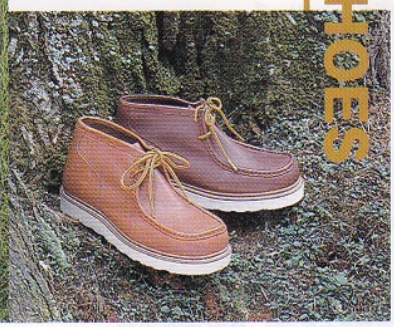
荒々しい大地を踏みしめ、
つぎのフィールドへ飛びだす。











●アウトドア・シューズ
①ワーク・ブーツ　No.5725／7,800円（ZIPPO金具付き、グッドイヤー・ウェルト製法、カラー：ブラック・ダークブラウン）
②ワーク・ブーツ　No.5724／7,800円（ワラビータイプ、グッドイヤー・ウェルト製法、カラー：ブラック・ダークブラウン・ライトブラウン・サンドベージュ）
③ネイチャー・カジュアル　No.2275／7,800円（プレーン・スリップオン、ステッチ・ダウン製法、カラー：ブラック・ダークブラウン・タン、アウトソールに天然クレープ使用）
④ネイチャー・カジュアル　No.2277／7,800円（モンク・ストラップ、ステッチ・ダウン製法、カラー：ブラック・ダークブラウン・タン、アウトソールに天然クレープ使用）
⑤ネイチャー・カジュアル　No.2276／7,800円（プレーン・レース・タイプ、ステッチ・ダウン製法、カラー：ブラック・ダークブラウン・タン、アウトソールに天然クレープ使用）
問東邦レマック（株）　☎03-3834-4265

ZIPPO AMERICAN OUTDOOR FASHIONS 2001

LEATHER GOODS

きみが使い込むことでしか、
このレザー・グッズは完成しない。









●財布
①ZP-52／5,600円（牛革製）
②ZP-160／3,500円（牛革製）
●ポーチ
③ZP-62／4,600円（牛革製、シガー・ライター一体型）
④ZP-95／6,500円（牛革製）
●ライターケース
⑤ZP-60／2,000円（牛革製、レプリカ・サイズ収納可）
問ヨシナガ（株）　☎03-3864-3834

ZIPPO AMERICAN OUTDOOR FASHIONS 2001

CAPS & HATS

おしゃれの定番アイテム。
ジッポー・ロゴがアウトドアへと誘う。













●キャップ
①キャップZP-265／2,300円（素材：ライスコール、カラー：ベージュ・モスグリーン、サイズ：フリー）
②キャップZP-269／2,500円（素材：杢エステル、カラー：ベージュ・紺、サイズ：フリー）
③キャップZP-271／2,300円（素材：杢コード、カラー：モスグリーン・紺、サイズ：フリー）
●ハット
④サハリZP-266／2,900円（素材：ライスコール、カラー：ベージュ・モスグリーン、サイズ：M・L）
問中央帽子（株）　☎ 06-6972-8881

OUTDOOR GEARS

どんな奇酷な状況下でも、その性能をフルに発揮する。
炎へのこだわりは、他の追随を許さない。









リフレクター装着例

①ポケット・ストーブ
世界最小・タバコサイズを実現した、クラス最強のアウトドア・ストーブ。
6,500円／最大出力2,700kcal
②WPS-Sガス・ストーブ
驚異の安定性、ハイパワーのセパレート・ストーブ。
10,500円／最大出力4,200kcal
③キャンピング・グリル
強力な火力と耐久性を実現した、ジッポーが生んだ世界最強のグリル。
グリルのみ／35,000円　バッグ付き／40,000円
④Zero-iランタン
1/3の燃料で、大型ランタン・クラスの明るさ。強力な光が暗闇を照らします。
リフレクター別売。
7,500円／160W相当
㊐興栄工業（株）　☎03-3800-5720

ZIPPO AMERICAN OUTDOOR FASHIONS 2001

WATCHES

その生き方まで刻むことができるのは、
ジッポーの名を冠した時計だけ。







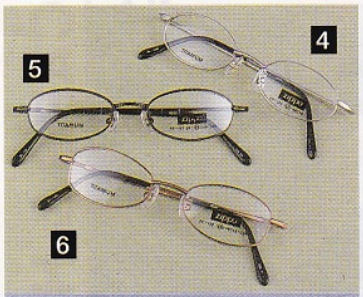


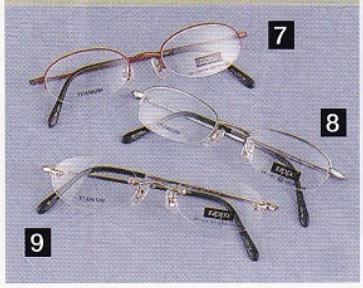
●ウォッチ
①タイム・コンパスTC-1／10,000円（時計・コンパス・温度計付き）
②タイム・ポケットTPC-4／10,000円（キャップ：真鍮、本体：合金、裏蓋：ステンレス）
③タイム・ウォークTW-3／10,000円（歩数計付き）
㊐（株）ヒューマンフレーム　☎03-3870-3111

ZIPPO AMERICAN OUTDOOR FASHIONS 2001

SUNGLASSES & FRAMES

フィールドにあわせて、ふたつの表情を演出。
ジッポー・サングラスとメガネフレーム。















●サングラス
①ZP-305／3,900円
②ZP-306／3,900円
③ZP-307／3,900円
●メガネフレーム
④ZP-120／19,000円
⑤ZP-121／19,000円
⑥ZP-122／19,000円
⑦ZP-123／19,000円
⑧ZP-124／19,000円
⑨ZP-125／19,000円
㊐（株）サンリーブ
☎0778-52-1330

SOCKS

見えないおしゃれを愉しむ。そんなゆとりをもつ大人でいたい。



①2本切替・ZIPPO刺繍入りソックス／2足組680円（素材：綿、アクリル、ポリエステル、ポリウレタン／カラー：オフ、茶、紺、杢ブルー）
②底パイル・縦ZIPPOロゴ入りソックス／2足組680円（素材：綿、アクリル、ポリエステル、ポリウレタン／カラー：オフ、茶、紺、杢ブルー）
問 福助（株） ☎03-3816-9201

BELTS

ジーンズにも、スラックスにも、ジッポーのロゴがよく似合う。



●布製ベルト
①No.1581／各800円（カラー：モスグリーン・黒・ベージュ・紺）
●合成皮革製ベルト
②ZP-1502／1,500円
③ZP-1901／1,900円
問（株）ファンス ☎06-6768-2831

IT'S A ZIPPO STORY ⑥

なつかし屋の聖地



菊地 昭典

さもない居酒屋がある。その名も、『なつかし屋』。ちっぽけな木造平屋の店表、ウサギが股のぞきしているイラスト入りの看板の下でやたら揺れるのれんをかき分けて、立て付けの悪いガラス戸を開けると、L字型の十五人も座ればいっぱいになってしまうカウンターがある。見渡せば、時代ものの映画ポスターが貼ってあったり、ブリキのおもちゃがあちらこちらで客をのんびり眺めていたりしている。薄暗いが妙にやわらかい光はと、上を見あげると金魚鉢を逆さにしたようなランプシェード、昭和三〇年代の大人びた少年の部屋にでも迷い込んだような錯覚を覚える。

カウンターのむこうには、刈り込んだ髪に丸ぶちメガネ、とぼけた口ヒゲにあごヒゲという、ぬいぐるみみたいにぼってりとした男が、必要以上に汗をかきかき、味には定評のある酒の肴を作っている。店主の名は和五郎。これが本名かどうかはわからぬが、『なつかし屋』という店名、彼の風体に妙にマッチしている。何かわからぬが、こだわっていることには違いない。このこだわりの店には、客もこだわりの客が多いようだ。

はじめて来た客は、話している間に、やたらあちらこちらで、カチン、シュボッ、カチン、シュボッという音が響いているのに気付く。タバコを喫っている左側の隣の客の手元を見ると、ジッポーが置いてあり、右隣の客はとさりげなく覗いてみると、やはりジッポーである。もちろん、店主の和五郎も、使い込んだローズ・ゴールドのジッポー。そして、昭和三〇年代の古びた雰囲気の店内には、BOSEスピーカーから、マイルス・ディビスが流れている。はじめて来た客は、なにやら目眩のような不安を感じてそそくさと帰るか、閉店間際のお決まりのラスト・ナンバー、ジッポーの開閉音をパーカッションにしたエリック・クラプトンの『イッツ・プロバブリー・ミー』に送られてご機嫌に帰るかの両極端の反応を示すことになる。

さて、この妙なこだわりの店には、聖地がある。カウンターの右端に木の壁があり、その入口には長めののれんが掛かっている。そのむこうには、三畳ほどの小さな座敷があるらしい。あるらしいというのは、例えば、四、五人連れの新米の客があがろうとすると、和五郎が、「予約が入っているもんで」と、やんわりと断る。だからといって、予約の客が来る気配もない。しかし、覗かせてよというのも、なんとなく気が引ける。ということで、新米の客たちは内がどうなっているのか知らない。しかし、馴染み客らしいのが、カウンターが空いているにもかかわらず、いきなり「こっちで」と、ごく自然にその小さな座敷にあがっていく。そんなとき、新米の客たちは、いっせいに身をのけぞらせ、のれんのすき間から、内を垣間見たりする。

この小座敷にあがることができる常連には、共通の特徴がある。全員、ジッポーを持っていた。七、八人が囲めば窮屈になるチャブ台には、見事にそれぞれのジッポーが並ぶ。和五郎が決めたのかどうか、いつからそうなったのか定かではないが、ジッポー愛用の常連のビップ・ルーム、聖地のような存在になっていた。この聖地で、ある小さな事件が起きた。

常連である先輩に連れられてやってきた男が、そんな聖地であるということも知らずに、この座敷に気軽にあがった。夫婦らしい中年の男女と若いカップルの先客がいた。タバコを喫おうとして、その後輩、事もあろうに、この聖地で百円ライターを出す。全員の視線がさりげなくその百円ライターに集まり、会話が一瞬途絶えたことも、くだんの本人は知るよしもない。百円ライターのホイールを回した瞬間、先輩が、いきなりその百円ライターを土間に叩きつけた。「馬鹿か、お前」「せ、先輩、どうしたんですか」「まだ、百円ライター使っているのか」「へっ」

カチン。同時に、五つのシュボッが響く。見回すと、先輩も、中年夫婦も若いカップルも、ジッポーでタバコに火を点けていた。それぞれお気に入りのデザインのジッポーで、個性を出していた。

「こだわれよ。でなきゃ、帰れよ」

その先輩を尊敬していた後輩は、この夜は、先輩のジッポーで火を点けさせてもらい、その場はしのいだ。実家の居間にいるような落ちついた気分になるこの小座敷が気に入った後輩、翌日、ジッポーを買いに行ったのは言うまでもない。

それからしばらくして、先輩と待ち合わせをして、再び『なつかし屋』に行った。先輩の名を言うと、すぐ小座敷にあげてくれた。この聖地の噂を聞いた後輩は、ちょっぴり優越感を感じていた。まもなく先輩が現れ、続いて顔に見覚えのある客たちが、やってきた。後輩、先日の顔ぶれと知るや、おもむろにハイポリッシュ・シルバー・プレートのジッポーを取りだす。すると、先輩たちも、おもむろにジッポーを出した。

「やはりね、当然ですよね」

すると、先輩たちは、後輩の目の前にジッポーを突きだした。みんな、なんと同じデザインだった。モスグリーンのベースにとぼけた顔のウサギ、トップにはなぜか『セーフティー・マッチ』、ボトムには『なつかし屋』とある。

「これ持っていないと、聖地には踏み入れられないんだ」

常連のこだわりはさらに進化し、特注のオリジナル・モデルのジッポーとなっていた。後輩が、和五郎から、オリジナル・モデルを慌てて買ったのは言うまでもない。

こんな店、本当にあるのかって……じつは……。

菊地昭典（きくちあきのり）
作家・脚本家。「九四七年仙台市生まれ。小説・ノンフィクションの著作のほかに映画、Vシネマ、テレビなどの数多くのシナリオを手がけている。二十数個のコレクションのうち、現在は、定禅寺ストリート・ジャズ・フェスティバルのオリジナル・モデルを愛用。

服飾デザイナー
水谷 彰宏氏
特別インタビュー

ジッポー・オリジナル Tシャツへの熱いこだわり。

日本でのプロモーション用に、ジッポー・オリジナルTシャツが抽選プレゼントとして登場したのは、九一年。当初、ジッポー社デザインのアメリカ製だったが、九四年からジッポー・ジャパン製へと変わり、九八年からはよりオリジナル性の高いデザインが採用されている。

ライター収納ポケットがついた「七ポケット付きTシャツ」（九八年）、着心地のよさが光る「シーム入りストレッチTシャツ」（九九年）、有松絞りの本場で加工された「絞りプルオーバー」（九九年）、六色が用意されたリバーシブル・タイプの「カラー・プルオーバー」（二〇〇〇年）がそれで、愛用しているジッポー・ファンも多いだろう。

そのすべてをデザインした服飾デザイナーの水谷彰宏氏（水博繊維株式会社／名古屋市西区）に、ジッポー・オリジナルTシャツについてうかがった。


Tシャツのデザインを熱く語る水谷氏


オリジナルTシャツの試作品

――ジッポーTシャツをつくりはじめたきっかけはなんですか。

水谷　私が若いデザイナーで、メーカーも兼ねている便利さがきっかけで声をかけていただきました。アメリカの文化であるジッポーのTシャツを、日本人の私がデザインすることでおもしろいものができると思い、引き受けました。

――水谷さんはいろいろな経歴をお持ちですね。

水谷　スーパー歌舞伎の舞台衣装などを手がける毛利臣男先生に師事し、東京で九二～九六年まで文化服装学院Ｆ工芸科にて教鞭を取りながら、舞台衣装製作に携わっていました。

――ジッポーTシャツのデザインを考えるときのテーマはなんですか。

水谷　テーマは「シンプルに、デコレーションしていく」ことです。最初はいろいろと考えるのですが、どんどん削ぎ落としていき、極力シンプルにしています。ジッポーは大人の世界ですから、〝かわいい〟よりも〝かっこいい〟ものをつくりたいですね。デザインは日本らしさを心がけていますが、ジッポー社の「IT WORKS!」もつねに頭にあります。


考えたデザインは、いきなり型紙にされる

――素材にも工夫があると聞きましたが。

水谷　予算も限られているので、すべてが最高のものをというわけにはいきません。しかし、生地や染料など、どこかに最高のものを使うようにしています。また、一枚一枚手づくりなので、口ゴの位置などがそれぞれちがうのも特長ですね。もちろん失敗はありますが、遊び心としてエラーものもあえて出荷しています。

――ジッポー・ファンにはたまらないエピソードですね。Tシャツに入っているバーコードにはどんな意味があるのですか。

水谷　バーコード自体には、とくに意味はありません。デザイン的にアクセントとして入れました。入れ方も、わかりにくい所にわざとプリントするなど、ジッポーならでは遊び心を表現しています。

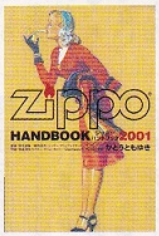

水谷氏のバーコード付きオリジナル・ネーム

ビデオ／ハンドブック購入ガイド



三月二十四・二十五日に開催された、第三回ジッポー東京スワップミートのイベント記録ビデオ（五十四分）が発売される。個人コレクター、ショップ、ジッポー社幹部のインタビューも収録。第一回・第二回の記録ビデオとあわせて、コレクターはぜひ手に入れたい一本になるだろう。ただし、第三回のビデオは、申込者が二十名以下の場合は発売されないので、あらかじめご了承いただきたい。

一月に完成した「ジッポーハンドブック2001」も現在、好評発売中。来年で七十年を迎える歴史やジッポーの魅力だけでなく、ジッポー社のこれからを知るうえでも欠かせない一冊である。



ご購入はハガキに、「第三回ジッポー東京スワップミート・イベント記録ビデオ希望」または「ジッポーハンドブック2001希望」と記入し、ジッポー・サービス名古屋（裏面参照）までお申込みください。住所、氏名、電話番号をお忘れなく。商品の発送は、代引きのみとさせていただきます。

●ジッポー東京スワップミート記録ビデオ
製作／ジッポー・ジャパン
第1回（'98）、第2回（'00）、第3回（'01）各3,000円（税・送料別）

●ジッポーハンドブック2001
著者／かとうともゆき　発行／岡本トレーディング（株）
B6判変型オール・カラー・352ページ　2,200円（税・送料別）

韓国の人気モデルは、いま――。

韓国の輸入代理店「新明インターナショナル」（本社／ソウル）によれば、ここでもジッポー・ライターが主流になっている。国内デザインも数多く開発され、人気モデルには「ジュエリー」入りなどがあり、デザイン・バリエーションも豊富。価格は五、〇〇〇円から八、〇〇〇円。ファッション・アクセサリー・チェーンにも数多く展示され、女性から男性への格好のプレゼントに。また、熱心なコレクターも最近登場、ホームページを開設したファンのインタビューを雑誌で紹介している。ちなみに、韓国では儒教の影響から目上の人の前ではタバコを喫わない。旅行のときには、ちょっとご注意！



きみは、このコレクティブルをもう見たか？

コイン・オイル注入器

ジッポーのまわりには、ライター以外にも数々のコレクティブルが存在する。なかには、稀にしか見ることのできないものもある。ましてや、それを手に入れることは、さらに困難を極める。コイン・オイル注入器も、まさにそのひとつだろう。幾人の手を経てもなお、放つ輝きは褪せることなく、さらに増していくばかりである。今回は二台のコイン・オイル注入器を保有する、中村義弘氏に話をうかがった。

――最初に、コイン・オイル注入器はどこで見つけたのですか。

中村　一九九八年、アメリカ・ジッポー社で開催された第四回インタナショナル・スワップミートです。それはすごい熱気で、どこから見ていけばいいのか戸惑ったのが印象に残っています。それまでに幾度かジッポー社を訪れ、本社受付でコイン・オイル注入器を見て、触れるたびにこれがほしいと思い続けていました。ニューヨークでも見つけましたが、売ってはくれませんでした。それが、一九九八年七月十七日、会場で見つけたんです。汚れて古めかしい存在でしたが、私には輝いて見えました。

――交渉はスムーズでしたか。

中村　早速、値段交渉に入ったのですが、一五〇〇ドル（約十八万）から値引きしてくれませんでした。使えるかと聞いたところ、「Oh Yes, it can use.」と返ってきたので、二個並んでいたうちの一個を買いました。ジッポー社日本代表の岡本さんに「トランクに入れて、もしものことがあったらいけないので、手で持ち帰ったほうがいいよ」と助言していただきました。

――珍しいものですから、持ち帰りも大変だったのでは……。

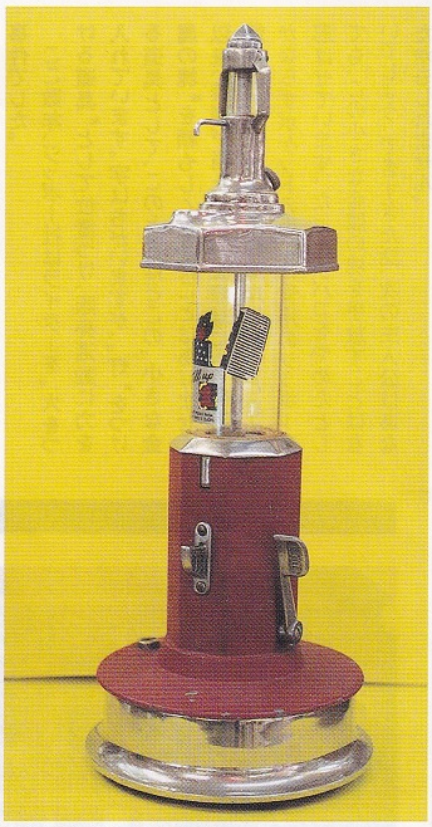
中村　佐々木小次郎のように背中に担いで日本に向かったのですが、まずバファロー空港の荷物検査で引っかかりました。厳重な梱包をすべてほどいて見せ、それから説明に入りましたが、なかなか理解してくれませんでした。「オイル・ポンプ・マシーン」で通じるのか？　と思いつつ、いっしょにいた横浜のHAMAYAさんも説明に加わってくれたので、ようやく通過できました。シカゴ・ニューヨーク・成田・大阪と、通過する空港すべてで同様にチェックされました（笑）。

――使い勝手はいかがですか。

中村　ところが、使おうとオイルを入れたところ、下までジャジャモレ。あー、しまった！　後の祭りかと思いましたね。そこで分解掃除をしましたが、ポンプのゴムが風化してボロボロ、バネのスチールも錆びて使えない。なにしろ五十年以上前の物ですからね。代用に合成ゴムを使ったのですがオイルに負けて伸びてしまい、役目をなさない。ともかく各所の部品不足は商売そっちのけで、約一か月かけてなんとか都合、復活させることができました。

――もうひとつ手に入れたとうかがいましたが。

中村　いまでは一九四〇年代末のものと、去年買った一九六〇年代の二種が店頭にあります。これは中の部品が大きく破損していて、いまのところ使えません。四〇年代末のものは、中央のオイルの見える部分はガラスでできていますが、六〇年代のものはアクリルに変わっています。中のアルミパイプはけっこう複雑に細工されています。当時、一セント・コイン一枚を入れてレバーを押すとポンプが作動し、ジッポー一回分のオイルが上から注入できる。なかなかユニークで楽しいおもちゃ（？）ですね。使ってみたい方は、ぜひきてください。いつでも使えるようにしています。



1960年代のコイン・オイル注入器

取材協力　ジッポー専門店 ナカムラ
〒542-0076　大阪市中央区難波4-4-5
☎06-6631-0135
交通／大阪地下鉄御堂筋線「難波」駅下車、10番出入口横
ホームページ　http://www.zipponakamura.com
メール　osaka@zipponakamura.com

老人がジッポーを使うシーンが最高にいい！

映画「百合祭」

レトロなアパートの住人たちが繰り広げる「老熟の性愛」というテーマを、明るく肯定的に描いたこの映画の中で、ジッポー・ライターが印象的なシーンを二度演出する。

ミッキーカーチス氏が演じる「三好さん」が引っ越してきたばかりの部屋に、住人の女性たちを招き入れた際、ジッポー・ライターでシガー（葉巻）に火をつけて、洒落た音楽を流し、ダンディーさを彼女らにアピールする。そして、クライマックスでは彼にだまされたことを知った彼女たちから問いつめられ、バツが悪そうにうつむいてシガーに火をつけるシーン。



両シーンともジッポー・ライターの大写しはないが、キャップを開けたときの「キン！」という音が館内に響き、ジッポー愛好者にはより印象的なシーンとして残る。

今後は京都市女性総合センター（九月二十九日）をはじめ、徳島、東京、旭川、札幌、岡山での上映が予定されている。



撮影で使用された1950年代の5面彫りの銀無垢ジッポー。道具にこだわってシガーを愛用するミッキーカーチス氏専用に、1982年製パイプ用インサートがコーディネートされた。

名古屋のショップ・イベント盛況

恒例化する「ジッポー・アウォーズ・ナゴヤ」

名古屋のジッポー専門店「有花里」（名古屋市中村区）では本年六月十七日、昨年より開催を開始したスワップミート形式による第三回目の「ジッポー・アウォーズ・ナゴヤ」を名古屋サミットホテル二階で開催した。主催者によれば、出展ブース四〇小間、参加者三〇〇名。東京、大阪など遠方からおなじみの面々が参集し、ジッポー・ワールドをたっぷり堪能した。

会場では記念ライター販売、オークション、鑑定会などが人気を集めた。次回は来年二月十七日（日）開催予定。お問い合わせは、052-452-1451まで。



小さな金属の塊、できすぎた話。

松　賢児
マルカイコーポレーション株式会社
専務取締役



ジッポー。この小さな金属の塊は、思い起こせば、物心ついたときからいつも私のそばにあった。会社の裏手に住んでいた子どものころは、入荷したジッポーの木箱（昔は木箱で入荷していた）の山をジャングルジム代わりにして遊び、家に帰ればサンプル（であったと思う）のジッポーをカチャ・カチャ・カチャとオモチャ代わりに。そういえば、十年ほど以前にジッポー社を訪れた際、当時のセールス・マネージャーであったフェッセンマイヤー氏が出荷用の木箱の廃材で、自ら日曜大工で別荘を建てたと言ってたっけ。

単車にテントをくくりつけて走りまわっていた学生時代は、CWU－45Pの左腕にはタバコといっしょに標準装備。キャンプの際は火付け、ロウソク代わりに大活躍。オイルがなくなればガソリン・タンクに浸して急場をしのぎ、スキーに行けば着火の悪さに腹を立て……。考えてみれば、ひとりのユーザーとして、ジッポーなしではライフスタイルが成り立たなかった。

社会人となり、少し落ちついてしまったが、五年ほど前にドイツ・フランクフルトに出張したときのこと。久しぶりに会った友人とハメを外しすぎ、気がつけば真夜中。慌てて最終の地下鉄に飛び乗りホテルに帰る途中、乗客のまばらな電車の中は五、六人の若い酔っぱらいグループと、話し言葉からアメリカ人と思しきカップルと私の構成。フランクフルト駅を出てしばらくすると、突然停車し、電車も照明もすべてとまってしまった。

非常灯もない真っ暗な車中、酔っぱらいのグループのテンションは次第にあがり、窓やドアをガンガン叩いて、ドイツ語で何かをワメキ散らし、ボックス席で私の正面に座っていたアメリカ人カップルの女性は恐怖のあまり、涙声で相手の男性に何かを訴えているありさま。車外からはプシュッ！　プシュッ！　とサイレンサーを装着した銃の発射音的な音（アクション映画の見すぎ!?）が次第に近づいてきて、私自身も"もしかしてテロ!?"と思ったほどです。恐怖が最高潮に達し、一瞬だけ照明が戻ったそのとき、ちょうど私はコートの上からライト代わりにジッポーをゴソゴソ探している最中だったので、それを見たカップルは私が銃でも取りだすとでも思ったのでしょう、完全に固まり、フリーズ状態。おそらく彼らには、"テロリストに追われる謎の東洋人"とでも映ったはずです（考えすぎ!?）。ふたたび停電し、恐怖に耐えること約五分。復旧したときに、私はカップルにライターを見せ、ウインクしてやりました。彼女の安堵に充ちた顔ったら、表現のしようがなかったですね。顔の筋肉がゆるみ、"助かった～"と本当に顔に書いてあるんですよ！　男性に目をやると、何と彼もポケットからジッポーを取りだすではないですか！　彼らは空港駅で降りていきましたが、別れ際に彼女から「Take Care!」と小さな声で挨拶され、無言のうちに"ともに死線を越えた"的な仲間意識が芽生えたのはいうまでもありません。



10年近く愛用しているスターリング・シルバーと愛車のキー

後日、友人にこの話をすると、ドイツではよくあることだそうで大爆笑されてしまいましたが、知らない土地で、しかも真夜中の終電、理解できないドイツ語で叫びまくり大暴れする酔っぱらいグループ、テロの多いヨーロッパ、ふつうはビビリますよね。あとから考えると、あまりにも"できすぎた話"に自分でも吹きだしてしまいましたが、あのカップルもきっと私と同じことを考えていたと信じてやまない事件でした。

ここ数年、ジッポー社はライターを"火をつける道具"として位置づけ、販売活動に力を入れています。字はちがいますが、"灯"をつける道具として、このときほどこの"小さな金属の塊"を頼もしく思ったことはありません。以来、禁煙が当たり前の国際線にも、病的禁煙主義の強いアメリカ西海岸に行くときも、かならずポケットの中には愛用のジッポーを忍ばせています。たとえタバコをやめたとしても、この小さな金属の塊を手放すことはないでしょう。できすぎた話、次の主人公はあなたかもしれません。

コレクター登場

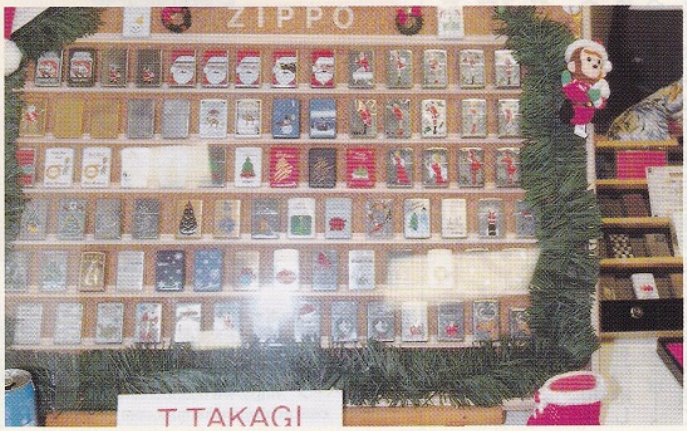
ジッポーのクリスマス・こだわりのデザイン

ジッポーを集めはじめて十五年。クリスマス（サンタ）・デザインは五年ほどになります。あのかわいらしさに惹かれ、気がつけば、あっという間に約九〇個。ほかにもテスト・サンプルなど、ジャンルを問わず、自分の気に入ったものを無理せず楽しんでいます。これからもジッポーを通していろんな方とお話ができることを楽しみにしています。

（お便りは、岐阜県大垣市美和町一七五四－一八）



高木敏男氏



ジッポー・ライター入門

着火編 Q&A

指導／遠島栄利（ジッポー・サービス）

機能第一主義のジッポーも、正しく使わなければ、その性能をフルに発揮しない。そこで今回から数回にわたって、ジッポーの正しい使い方をレクチャーしていく。まずは、着火編。どれもが基本的なことなので、よく読んで、これからもジッポーを正しく使ってもらいたい。

Q1 買ったばかりなのに、火がつかないのですが…

A 発火石（Flint）とオイル（Lighter Fluid）が入っているか点検してください。通常、新品の状態では発火石が一個挿入されていますが、オイルは入っていません。販売店で購入してください。

※発火石……回転ヤスリをまわすことで火花を出す、点火用の小さな石。

Q2 オイルの入れ方を教えてください。

A ライター・キャップを開け、内部のオイル・タンクを引き抜きます。タンク下部のフェルト・パッドの端を引きあげて、内部の綿にオイルを注入します。その際、入れすぎには注意すること。



Q3 オイルを入れすぎてしまったのですが…

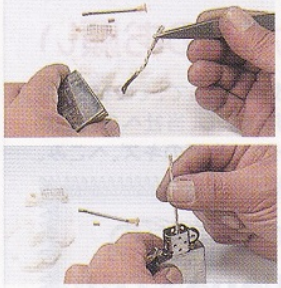
A ティッシュなどで、まわりのオイルを完全に拭き取ってください。フェルト・パッドを指で押し、溢れでるオイルも拭き取ってください。

Q4 炎はどうやって消せばいいのですか？

A 点火後、ライターのキャップを確実に閉じてください。そうすれば、自動的に炎は消えます。

Q5 点火しにくいのですが…

A 発火石が小さくなっていないか、オイルが少なくなっていないかを点検し、回転ヤスリをまわして火花の出具合を見てください。火花の出具合がいい場合は内部綿に水または整髪料など、オイル以外のものが混入していることが考えられるので、綿の交換または乾燥を行ないます。火花の出具合が悪い場合は、ジッポー・サービスへ修理を依頼してください。



Q6 黒くなった芯を交換したいのですが…

A 内部のオイル・タンクを引き抜き、下部の石押しネジ、発火石、フェルト・パッド、綿をすべて取りだします。上部風防内の芯を引きだし、黒い部分をハサミなどで切り取ってください。芯を元の位置に戻してから、綿、フェルト・パッド、発火石、石押しネジの順にセットしてください。

Q7 発火石が詰まったときはどうすればいいのですか？

A 石押しネジを取りはずし、タンクを叩いて取りだしてください。それでも取りだせないときは、ジッポー・サービスへ。

Q8 炎をいまより大きくしたいのですが…

A 本来、炎の調整はできません。ただし、芯を少し長くすれば多少大きくなるので、風防の高さくらいまで伸ばしてください。

Q9 オイルは、他社のものでもいいのでしょうか？

A ジッポー純正オイル（Lighter Fluid）を使用してください。他社のオイルを使い、故障した場合は保証が受けられません。



Q10 発火石はどれくらい使用できるのですか？

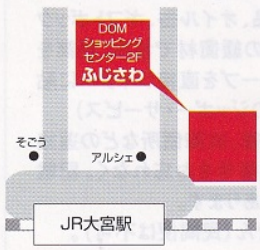
A 一日で平均二十本喫うとして約二か月ですが、発火石は五分の一を目安に、早めに交換してください。予備の発火石をオイル・タンク内のフェルト・パッドと綿の間に二、三個入れておくと便利です。発火石はオイルで風化することはありませんが、金属ですので、水や塩水で簡単に風化します。保管には気をつけてください。

ZIPPO SHOP TOUR

●埼玉 たばこ&ギフト ふじさわ

〒331-0852
埼玉県さいたま市桜木町2-3
DOM2F
☎048-641-9416





AM10:00～PM8:00
定休日／水曜不定休

大宮駅西口で、たばこと喫煙具を専門に十九年前にオープンしました。多くはありませんが、「ほかでは見かけないものを！」という考えで、他店にはないユニークなジッポーや新商品をいち早く取りそろえています。もちろん、定番ジッポーや売れ筋ジッポー、そして数は少ないですがアンティーク・ジッポーも扱っています。

「どんなジッポーをプレゼントしたらいいか？」「いま、いちばん人気のジッポーはどれか？」など、お店にきて、気軽に声をかけてください。

●大阪 家具・調度品・ZIPPO 貴族館

〒543-0024
大阪市天王寺区舟橋町15-31
☎06-6763-5488
http://www.kizokukan.co.jp/
mail　info@kizokukan.co.jp





AM10:00～PM6:30
定休日／毎週木曜日

JR・近鉄・地下鉄の鶴橋駅から大変近い場所に展示場があります。家具・調度品と、ジッポーの販売を行なっています。家具屋なのでジッポーは素人ですが、どのお店にも負けまいと一生懸命がんばっています。また、価格面でも大勉強しています。遠くのお客さまはインターネットを見てください。また、ヤフー・オークション、楽天のオークションにも多くの商品を出品しています。当社のジッポーはすべて正規ルートの商品ですので、安心してお買いあげいただけます。

●兵庫 有限会社 プチ神戸

〒670-0927
兵庫県姫路市駅前町301
☎0792-82-2681



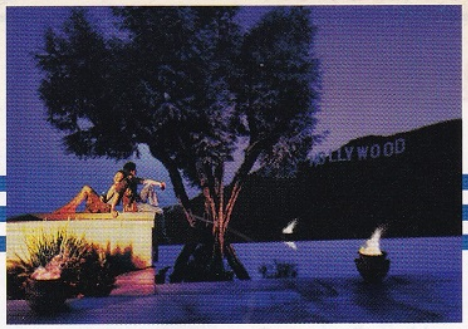


AM10:00～PM7:30
定休日／木曜日

JR姫路駅北口から徒歩一分、パステルブルーのアーケード街中心部にあり、創業以来二十二年間、ジッポーを中心に舶来雑貨を販売しています。小さな店舗ですが、新作モデルの入荷の早さ、希少なアンティーク・ジッポーなど多種多様な品ぞろえには、コレクターならずとも、一般の方でも楽しめるスペースとして展示しています。最近では、プレゼントで贈られる方にご好評なジッポー・ライターへのネーム入れ、未使用品・中古品ジッポーの買い取りなども強化しており、お客さまのニーズにお応えしています。

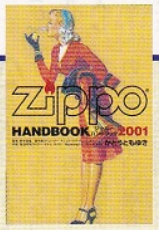
Zippo AN AMERICAN CLASSIC
ZIPPO HOT NEWS SPECIAL ISSUE
ジッポー・ホットニュース・スペシャル2001秋冬号 Vol.7

FROM ZIPPO



全米キャンペーンより

PRESENT ライターをお求めのチャンス!



Ⓐ ハンドブック



Ⓑ ビデオ「炎に賭けた男」

いま、ジッポー・ライターをご購入の方に、ごらんのオリジナル・グッズのうち1点を抽選でプレゼント。Ⓐ「ZIPPO HANDBOOK 2001」(B6判変型オール・カラー／352P／500名)Ⓑ創業者の生涯を描くビデオ「炎に賭けた男」(48分／300名)

★ご希望の方は、ライターに添付されている日本語版保証書のオイル缶イラストページ(写真右参照)をハガキに貼付し、住所、氏名、年齢、職業、電話番号、および希望商品(A、Bのいずれか)を明記のうえ、下記のジッポー・サービス(名古屋)までお送りください。12月末日消印有効。当選発表は賞品の発送をもってかえさせていただきます。



★ジッポー・ライターの無許可加工および販売について

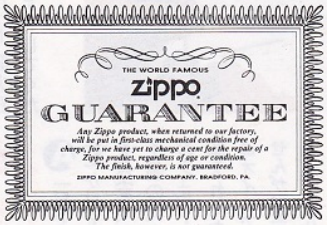
最近、無断でジッポー・ライターに有名ブランド・ロゴをつけた不法加工モデルを小売店頭などで見受けます。これらは各ブランド所有者に対してはもちろんのこと、ジッポー社に対しても商標権の侵害、ならびに不正競争防止法にふれる行為になり、刑罰の対象になります。ジッポー・ライター関係各位におかれましては、ジッポー製品をお取り扱いの際は、必ず上記の法律をご認識くださり、万が一にもお間違いのなきよう、特別のご配慮をいただきますようお願い申し上げます。

★本誌の定期購読をご希望のみなさまへ

「ZIPPO HOT NEWS SPECIAL ISSUE」の定期購読をご希望の方は、住所、氏名、年齢、職業、電話番号を明記のうえ、ジッポー・サービス(名古屋)「HOT NEWS」係までハガキにてお申込みください。初回送付時に専用の郵便振替用紙を同封いたしますので、郵送手数料1,000円(年2回／税込)をお振込ください。

ジッポー・サービスからのお願い

ジッポー社では、ライターの機能的な故障に対して、その状態、使用年数を問わず、これを無料で直します。ただし、当社への郵送にかかる費用はお客さまの負担です。ライター表面のキズ、へこみ、変色、メッキ不良、革のはがれ・破れ、摩耗、飾りメタルの取りつけ、および他社製ライターは修理できません。また交換部品、内部ユニットは新品を使用しますので、ご了承ください。



●修理を依頼するまえに

①着火不良は純正発火石、オイルが入っていないことによるものか、まずご確認ください。
②芯は消耗品、販売店で購入ください。装填方法は簡単で、内部の綿をすべて取りだし、芯を入れ、長さは風防ガード上部くらいに合わせます。残りを内部に詰めながら、バランスよく綿を詰めればOK。なお、綿は市販の布団綿、純綿でも代用できます。

●修理品の送付方法

①綿に残っているオイルは必ず抜き取り、完全に蒸発させます。
②郵送にはライター(化粧箱、飾り付属品、オイル缶、ギフトボックスなどは同封しない)をティッシュなどの緩衝材で包み、封筒を二重、三重にしてください。そのときテープを直接ライターに貼りつけないこと。(送付先／下記記載のジッポー・サービス)
③修理品とともに、必ず日本語併用保証書、故障個所などの連絡メモも同封ください。住所、氏名、電話番号をお忘れなく。記載もれのある場合は返却できない場合もあります。
④郵送以外の方法では受け付けできません(民間便は不可)。
⑤貴重品は簡易書留で郵送ください。

★ライターの正しい使い方

①オイル注入直後は、十分注意。入れすぎの場合は、ティッシュなどで必ず拭き取る。また、火気に注意してください。
②点火使用後、キャップを完全に閉じ、消火を確認する。

くわしい情報を入手するなら

[ホームページ] アメリカ本社版 http://www.zippo.com　日本版 http://www.zippo-japan.com
[ＦＡＸ情報] FAX.03-3436-6090　音声ガイドにしたがい、希望する情報BOX番号を指定する。インデックスは「0000」。
[輸入代理店] ●ライターのお問い合わせ／伊藤商事(株) ☎03-3562-5811／マルカイコーポレーション(株) ☎06-6443-0072
[ライター修理] 〒450-8691 名古屋中央郵便局名古屋駅前分室私書箱233号・ジッポー・サービス
〒111-8691 東京浅草郵便局私書箱47号・ジッポー・サービス東京のいずれかに送付ください。
●このほかジッポー製品は各種あります。本誌記載の表示価格は、2001年9月現在の税抜き標準小売価格です。

お問い合わせは…

© 2001 ZIPPO MANUFACTURING COMPANY
Printed in Japan 禁・無断転載

発行日／2001年9月20日　発行／ジッポー・マニュファクチャリング・カンパニー日本代表部／〒453-00
名古屋市中村区中島町4-4　発行人／岡本信義　編集／加藤知之　制作／協同広告(株)名古屋
☎052-961-6611　協力／伊藤商事(株)／マルカイコーポレーション(株)／伊藤忠ファッションシステム(